

## 2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 01 月 25 日作成)

小委員会名	木質構造教育プログラム策定小委員会		主 査 名：野口 弘行 就任年月：2003 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 木質構造運営委員会		委員長名：和田 章 主 査 名：鈴木 秀三
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2007 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	本小委員会は、我国の学校、企業等における木質構造の教育の現状を明らかにし、木質構造の健全な発展を即すために、設計者・施工者・教師・学生の各者に対する木質構造の教育プログラムを策定することを目的としている。		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：なし		
	野口弘行(明治大学) 大橋好光(熊本県立大学) 坂田弘安(東京工業大学) 坂本功(東京大学) 遠山則孝(遠山設計事務所) 那須秀行(住友林業) 林知行(森林総合研究所) 河合誠(三井ホーム) 杉山逸郎(MAY 設計) 照井清貴(ボラス暮らし科学研究所)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2005 年度予算	150,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：なし	

項 目	自己評価	
委員会開催数	10 回(年度内計画を含む) + 学会大会での PD 実施	
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)		
講習会		
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)		
大会研究集会	PD : 木質構造における教育の実状と将来について 資料名：木質構造における教育の実状と将来について	参加者数 約300名
対外的意見表明・パ ブリックコメント等		
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	本年度の大きな目標としては、学会大会でのパネルディスカッションの開催があった。 その PD 開催にあたっては、木質構造に関する全般概略を網羅しつつも簡潔な資料が作成できた。また、PD 自体も大変盛況で活発な意見交換ができた。今後の木質構造会発展に資するものとする。本年度の活動として有意義であった。	
委員会活動の問題点 ・課題	現在、実業界向けに木質構造の教育実態についてのアンケートを企画しているが、質問内容および配布・回答方法等、妙案が出ず苦心している。ポイントを絞ってのアンケートにシフトしたほうが良いかもしれない。	